

# FISHIN'GRAPH

フィッシンググラフ～見て感じて楽しむ沖釣りライフ

## ③③紀州のシロアマダイ ～和歌山県田辺・江川港出船～

各地で増加傾向にあるものの、和歌山のシロアマダイは顕著な例といえそうだ

「隣の港の船がうちの前でシロアマダイを釣ってね、それで始めてみたのが、きっかけです」  
紀伊半島西部、田辺市江川港の貴丸たかまる海丸かいまわまるがシロアマダイ乗合を始めたのは2年前。それまで延縄など職漁でも見られなかったシロアマダイが、港の前、水深30～50メートルで釣れ始めた。  
キンメダイなど深場まで得意とする坂本敏美船長によると、田辺ではアマ



▲紀伊半島は山深く海岸線は入り組んでいる



▲1月末で早くも「もちガツオ」が水揚げされた田辺・江川港にて親子で営業する貴丸/海丸



▲水深は50～30メートル前後。海底はどちらかという泥質

ダイ釣りの歴史はなく、いきなりのシロアマダイ乗合だったものの、やってみれば竿頭がツ抜けすることは珍しくなく、最大53センチまで大小交じりで秋から翌年の春、あるいはそれ以降続くという。  
遊漁で対象となるアマダイは「赤」「黄」「白」の3種。その中でシロアマダイは他の2種よりも暖かな海を好み、浅い場所に生息。近年、海水温の上昇とともに生息範囲を広げている魚だ。  
仕掛けは3号全長2メートルの2本バリ。基本的な釣り方やタックルも、一般的なアマダイ釣りと同じながら、エサに違いがある。  
富所潤さんが田辺に釣行したときも、船長より「アオイソメを用意したほうがいい」とのアドバイスがあり、当日はオキアミとアオイソメを並行して使

釣り場はいずれも田辺の街を眺める近場。仕掛けは一般的なアマダイ用、オモリは60号を使う

◎とみどころ じゅん シマノインストラクター。ティップエギング、メタルスッテゲーム、タチウオをはじめ、船のライトゲーム、「楽しむ釣り」の最先端に行く。



体長40センチ、重さ1キロほどになると顔の白さが際立ち貫禄が出てくる



アオイソメで釣れたシロアマダイは、すべて、船の揺れで時折オモリが底を打つ程度で止めて待ち、小さなアタリを送ってしっかり食い込ませ、向こう合わせの要領で掛けた。たとえるなら、カレイ釣りのようなアマダイ釣り。オキアミエサでの釣りとは異なる釣趣だ

が、釣れつぷりは見事であった。シロアマダイは食欲旺盛で、アカアマダイ以上にタイラバやメタルジグへの反応がいいとされる。また、アカアマダイの倍の速度で成長するとも言われることから、今後、生息域の拡大に拍車がかかれば、主要な釣り物になる

可能性もある。もし、関東でも、この日の田辺のように「釣果はすべてシロアマダイ」となったら、将来、アカアマダイが「幻」として珍重される日がくるかもしれない。そう思わせるほど、田辺のシロアマダイの魚影は濃いのであった。



▲オオモンハタとメイチダイの一筋。ほかイトヨリダイなど、温暖な海を好む魚が顔を出した



▲岸近くの水深30メートル台で入れ食いになる一幕

▶きれいにハリが外れ、オケの中で泳ぎ回復した小型を逃がす



▼田辺の料理店では「白アマダイの塩焼き」も。すでに地域の魚として馴染んでいる



▶シロアマダイで重宝するのがアオイソメ。必携といえる  
◀オキアミはアタリは多いもののゲストが多くエササちに難があった



アオイソメをしっかり食わせるイメージでゆっくり聞き合わせ



**【フォースマスター 600】**  
PE2号300mのラインキャパシティとコンパクトボディにより沿岸の釣りを広くカバー。タッチドライブスピードロックにより直感的な速度調整を可能とし、探見丸スクリーンにより海中の今を知ることできる（探見丸搭載船にて）。テクニカルガンングリップとの組み合わせにより瞬間的、かつ精密なコントロールを実現



▶サイズは大小が入り交じるが、種類はシロアマダイのみ

つてみた。すると、オキアミエサはアタリが多く、頻繁に取られ、クラカケトラギスやイトヨリなどのゲストが掛かるのに対し、アオイソメはアタリも、ゲストも少なかった。それならオキアミに分があるかといえ、そうではなく、シロアマダイが釣れたのは、すべてアオイソメであった。もちろんこれまでシロアマダイはオキアミでもたくさん釣れているが、当日は大きく偏ったのだ。そのせいか、釣り方も若干異なっていた。いわゆるライトなアマダイ釣りは、オモリで海底を軽く小づいたのち、0.5〜1メートル浮かせて誘いを入れてアタリに合わせていくが、当日、その誘いは効果的ではなかった。



尾ビレの様子はアカアマダイと異なり細かい



**【ライトゲーム XRF】**  
◎シマノロッドテクノロジーを注ぎ込んだ最新ゲームロッド。64、73、82計12アイテム、オモリ20〜120号まで、浅場からライトな中深場までカバーする



▲手感度を増幅させるカーボンモノコックグリップ



▲左右両用、安定性に操作性が加わったXシートテクニカルガンングリップ



アマダイにベストマッチといえるのがライトゲームXR73MH175。フォースマスター600との組み合わせは沿岸の釣り物の楽しみを広げてくれる

▼手持ちで積極的に誘うのが楽しいライトゲームXR82MH180